

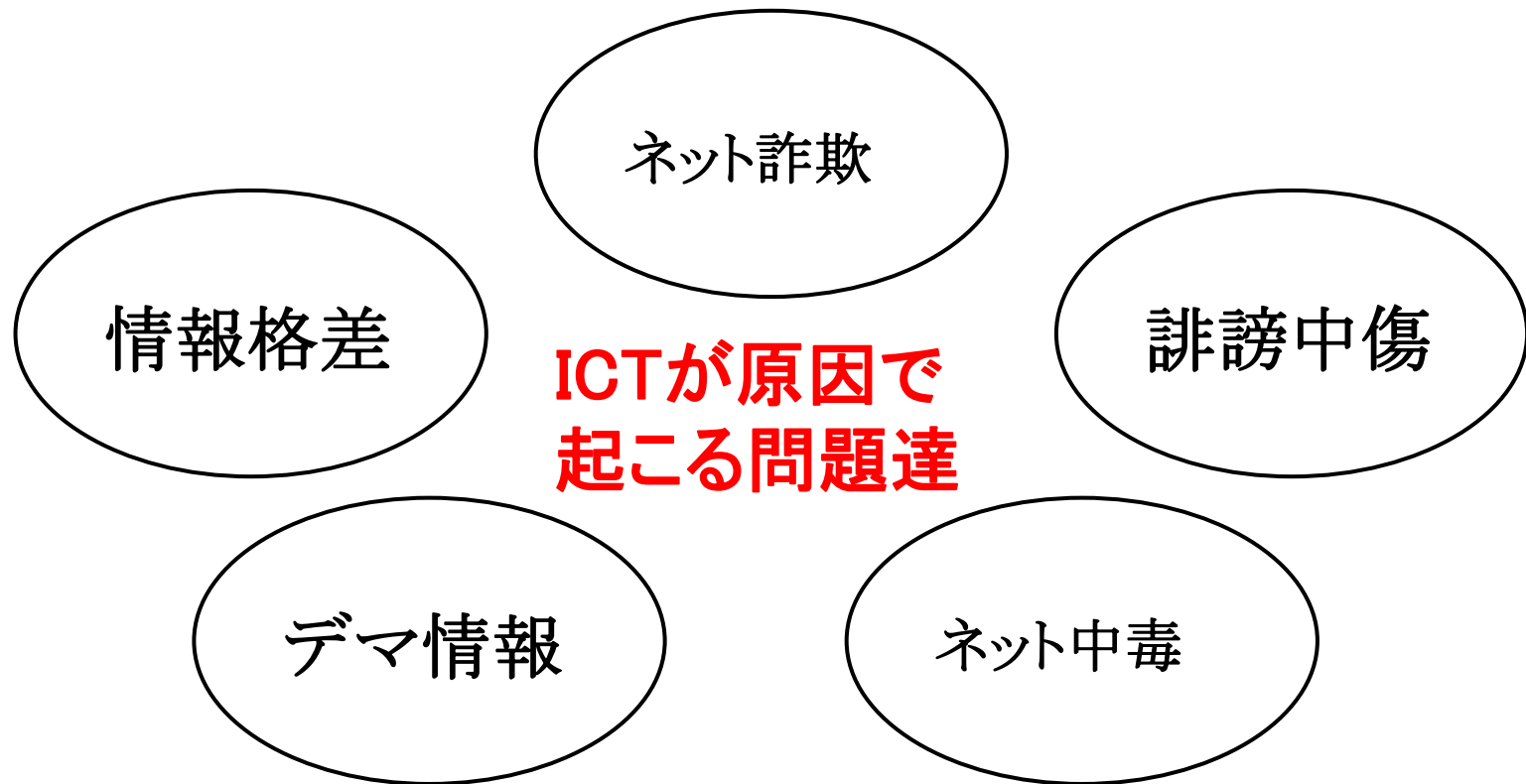
今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

開催地：オンライン      グループ：      2班      2023.08.07

# 技術と行動でよりよい情報社会へ



# デジタルウェルビーイングな社会への壁は？



どうやったらその壁はなくなるのか、

私達は、2つのアプローチがあるのではないかと考えた。

「技術面によるアプローチ」

そして、

「行動面によるアプローチ」だ。

私達はこの両方が、デジタルウェルビーイングな社会を築く上で不可欠だと考える。

# 技術面によるアプローチ

「**誹謗中傷**」・・・SNS内でAIを利用して、悪口などを排除するシステムを使う。匿名制度を廃止する。

「**ネット中毒**」・・・アプリなどを利用して時間を管理していく。

「**詐欺**」・・・周りの人の呼びかけや、自分で情報や人物を見極めることが大切。

「**デマ情報**」・・・知らずのうちにデマになる可能性があるため、発信側も受け取り側も注意する。

「**情報格差**」・・・地域の環境を整え、高齢者にとってネットが身近な存在になるようにする。

# 行動面によるアプローチ

「誹謗中傷」・・・本当に書き込んでもよいか一度考える

「ネット中毒」・・・時間を決めるなどの自制

「詐欺」・・・周りの高齢者に呼びかけ、自分で情報を見極める

「デマ情報」・・・自分でソースを確かめる、信頼できる情報源から得る

「情報格差」・・・高齢者にも伝わるように地域で直接伝える。  
講座などを開き ICTの扱い方について教える

# まとめ

デジタルウェルビーイングな社会を目指していくためには、発達している技術、ICTをうまく問題に適応させるだけでなく、行動面によるアプローチのように、高校生やそれ以外の人でも簡単にできることもある。私達高校生はICTに馴染み深い世代であるからこそ、ICTをみんながうまく使っていけるような社会づくりに、可能な形で貢献するべきだ。